

令和7年度

岐阜薬科大学大学院薬学研究科  
薬科学専攻博士後期課程

# 学生募集要項

岐阜薬科大学

令和6年6月

## 1 基本理念とアドミッションポリシー

薬科学専攻は、「ヒトと環境に優しい薬学（グリーンファーマシー）」の実践を基盤として、薬と健康に関する高度で先進的な研究により薬学の発展に貢献するとともに、それに支えられた教育を通して、自立して創造的研究活動を遂行するために必要な研究能力、その基礎となる豊かな学識、常に人と環境への配慮を怠らない優れた人格を身につけた、将来、薬学の研究者・技術者として指導的役割を担う人材を育成することを目指しています。

このような観点から、次のような学生を求めています。

- 1) 創薬科学の基本を理解し、国際的な活躍を目指す意欲を有する学生
- 2) 高度化及び先端化する創薬科学、生命科学、環境科学領域の研究に挑戦する意欲を有する学生
- 3) 自立して創造的な研究に取り組む志及び継続する忍耐力を有する学生
- 4) 常に人と環境に配慮することができる人間性と倫理観を持つ学生

## 2 募集人員

(1) 薬科学専攻博士後期課程 5名（社会人入学を含む）

(2) 研究室・連携機関

大講座	研究室・研究所
創薬化学	薬化学、薬品化学、合成薬品製造学
生体機能解析学	分子生物学、薬効解析学、免疫生物学、生体情報学
薬物送達学	薬品物理化学、製剤学
機能分子学	生薬学、薬理学、薬品分析化学
生命薬学	感染制御学、衛生学、生化学
医療薬剤学	薬物動態学、臨床薬剤学、薬物治療学
実践薬学	病院薬学、地域医療実践薬学、医薬品情報学、薬局薬学、グローバル・レギュラトリー・サイエンス
サテライト研究室	健康医療薬学研究室、先端医療薬学研究室、医療連携薬学
寄附講座	化粧品健康学、バイオメディカルリサーチ、先進製薬プロセス工学、ナノファイバー創剤学、先端医療薬局学、社会薬局薬学、機能性食品開発学
共同研究講座	創薬イノベーション、次世代エネルギー化学
連携大学院	岐阜県保健環境研究所、国立研究開発法人 産業技術総合研究所

上記の募集人員には、連携大学院が含まれる。

## 3 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

- (7) 学校教育法第102条第2項の規定により他大学院に入学した者であって、大学院において教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

ただし、上記出願資格(6)、(7)又は(8)で出願しようとする者は、事前に志望する研究室の指導教授に相談のうえ、出願資格審査及び出願手続きを行ってください。

#### 社会人出願資格

上記いずれかの出願資格を満たす者で、各種研究機関、教育機関、官公庁、企業、医療機関等に在職し、入学後引き続きその身分を有する者

## 4 出願期間

【一次募集】 令和6年8月2日(金)～8月9日(金)まで

【二次募集】 令和7年1月6日(月)～1月14日(火)まで

※郵送の場合は出願期間内に必着とします。

## 5 出願手続

入学(進学)志願者は、入学願書等、以下に指定する書類に、入学検定料を添えて提出してください。

- (1) 入学(進学)願書(様式第1号)  
本学から交付する用紙を用い、本人が所定の事項を記入してください。
- (2) 写真票受験者証票(様式第2号)  
本学から交付する用紙を用い、本人が所定の事項を記入してください。また、写真1枚〔縦4cm・横3cmの正面像写真(無地の背景で肩から上の顔写真、帽子・マスク等は着用せず出願前3か月以内に撮影したもの)〕を、写真票の所定の欄に貼付してください。
- (3) 修士学位論文要旨(様式第4-1号)又は研究・開発業務等の概要(様式第4-2号)  
いずれか該当するもの  
修士学位論文要旨(様式第4-1号)… 出願資格(1)、(2)に該当する者  
研究・開発業務等の概要(様式第4-2号)… その他出願資格(3)～(8)及び社会人出願資格に該当する者  
本学から交付する用紙に1,200字以内にまとめてください。
- (4) 最終学歴における学業成績証明書
- (5) 修士課程修了証明書又は修了見込証明書、若しくは卒業証明書
- (6) 推薦書(様式第5号)  
本学から交付する用紙を用い、志望する研究室の指導教授が作成し厳封したものです。
- (7) 研究に対する抱負及び自己アピール書  
本学から交付する用紙を用い、本人が所定の事項を記入してください。
- (8) 受験者証票送付用封筒  
本学から交付する封筒(本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手94円分(郵便料金値上げ後はその金額)を貼付してください。)
- (9) 入学検定料(本学大学院薬科学専攻博士前期課程を修了見込みの者で、引き続き博士後期課程進学を志望する者は不要。)  
30,000円  
添付の「入学検定料振込用紙」にてお支払いの上、振込証明書(③提出用)を提出してください。
- (10) 出願資格(6)又は(8)に該当する入学志願者には、実務経験期間について、所属長が証明した勤務実績証明書の提出を求めることがあります。
- (11) 社会人入学を希望する者は、勤務先の所属長又は代表者が作成した受験許可書(A4版 様式任意)を提出してください。
- (12) 入学志願者は、必ず志望する研究室の指導教授に事前に相談のうえ、出願手続きを行ってください。
- (13) 客員教授による研究指導を希望する者は、事前に研究科長に相談のうえ、出願書類を提出してください。

## 6 試験期日・内容及び場所

### 【一次募集及び二次募集】

試験期日	試験時間	試験内容	場 所
受験者に別途連絡		学力検査及び面接	岐阜市大学西 1丁目25-4 岐阜薬科大学 (本部)

※学力検査は、プレゼンテーションと質疑により行います。

※試験時間は、受験者数によって変動する場合があります。

## 7 選抜方法

選抜は、出願書類（「修士学位論文要旨又は研究・開発業務等の概要」、学業成績証明書、推薦書、「研究に対する抱負及び自己アピール書」）の審査に加えて、学力検査及び面接の結果を総合して行います。

## 8 合格発表

【一次募集】令和6年8月30日（金）

【二次募集】令和7年1月31日（金）

本学（本部）掲示板に発表するとともに、本人あてに通知します。

なお、本学ホームページ (<https://www.gifu-pu.ac.jp/>) にも合格者受験番号を掲載します。

（電話等による問い合わせには一切応じません）

## 9 入学料及び授業料

入学料（本学大学院薬科学専攻博士前期課程修了者を除きます。）

岐阜市内在住者 282,000円

岐阜市外在住者 504,000円

授業料 年 額 535,800円（前期、後期の2期に分納）

※ 上記は、令和6年度入学者の納入金額を示していますが、入学時に改定されることもあります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 岐阜市内在住者とは、本人又は配偶者、もしくは一親等の親族が令和6年4月1日から合格発表の日まで引き続いて岐阜市内に居住（住民登録）している者をいいます。

※ 上記の入学料・授業料のほか、後援会費等の諸会費が必要となります。

※ 入学料及び授業料は、減免を受けられる場合があります。

## 10 注意事項

- (1) 入学（進学）願書等を送付する場合は、「書留郵便」とし、封筒の表に「薬科学専攻博士後期課程入学（進学）願書在中」と朱書きしてください。
- (2) 出願手続後の書類の変更及び入学検定料の払い戻しはできません。
- (3) 受験に関し、虚偽の記載又は不正申告等の事実があることを認めたときは、合格を取り消すことがあります。
- (4) 照会及び出願書類等の請求は、本学教務厚生課あてとし、郵便で請求する場合は、あて先を明記し、郵便切手140円分（郵便料金値上げ後はその金額）を貼付した返信用封筒（角形2号）を同封してください。
- (5) 本学窓口での受付時間は、平日午前9時から午後4時までとします。

## 11 連携大学院について

本大学院は、研究領域の拡大と教育の多様化を目的として、特色のある設備あるいは機能を有する岐阜県保健環境研究所との間で協定を結び、連携大学院を構成しています。研究機関の研究者は、本学の客員教授又は客員准教授として当該研究機関において、学生の研究指導を行います。

## 12 外国人学生の出願について

外国人学生として入学（進学）を志望する者は、前記出願書類のほかにも別途書類を提出する必要があります。

また、入学（進学）試験は、原則として日本人学生と同時に、同一方法をもって行いますが、特別の事情があると認められる場合には、特別の選抜試験制度及び入学（進学）時期の特例がありますので、事前に志望する研究室の指導教授に相談のうえ、出願手続きを行ってください。

## 13 個人情報取扱

入学者選抜の過程で収集した個人情報は、入学者選抜の目的以外には一切利用しません。

## 14 願書提出先・お問い合わせ

〒501-1196 岐阜市大学西1丁目25-4

岐阜薬科大学事務局教務厚生課

電話（058）230-8100（内線3595）

### 岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻博士後期課程

大講座	研究室	研究内容
創薬化学	薬化学 准教授 平山 祐	1 低酸素微小環境を標的とする癌治療薬及び診断薬の創製 2 生命反応解明のための機能性分子の創製とケミカルバイオロジー研究 3 創薬のための多機能性指向型合成法の開発 4 分子イメージングプローブ及び新規生物機能分子の開発
	薬品化学 教授 佐治木弘尚 准教授 井川貴詞	1 機能選択的不均一系触媒の開発と医薬品化学的応用 2 重水素標識化法の開発と機能性材料としての応用 3 効率的合成法の開発と医薬品・プロセス化学的応用 4 不安定中間体の新規発見法を基盤とした効率的分子骨格構築法の開発
	合成薬品製造学 教授 伊藤彰近	1 分子状酸素を利用する環境負荷低減型酸化反応の開発 2 光を利用する環境負荷低減型新規反応の開発 3 有機分子触媒を利用する新規反応の開発研究 4 ゼオライト等無機多孔性物質の有機合成的応用研究
生体機能解析学	分子生物学 教授 福光秀文 准教授 本田岳夫	1 神経栄養因子の生理作用を制御する物質の探索と方法の開発 2 脳の発達・機能成熟における転写後調節機構の生物学的意義解明とその医学的応用 3 大脳皮質組織構築の分子機構解明 4 中枢組織の機能再生をめざした開発的研究
	薬効解析学 教授 嶋澤雅光 准教授 中村信介	1 神経細胞死の機序解明に関する研究 2 脳卒中などの中枢性神経疾患に関する病態解明及び創薬研究 3 緑内障などの網膜疾患に関する病態解明及び創薬研究 4 健康補助食品の開発と薬理学的研究
	免疫生物学 教授 田中宏幸	1 抗アレルギー活性を有する植物エキスによる機能性食品の開発研究 2 食物アレルギーの根治を目指すペプチド療法の開発研究 3 経皮感作によるアレルギー発症機序の解明
	生体情報学 教授 松永俊之(兼務)	1 違法薬物や大気汚染物質による健康被害の分子機構の解明 2 有毒植物の病因物質の同定と食中毒発症に関する分子機構の解明 3 抗がん剤など薬剤耐性化を抑制する新規補助化学療法の開発 4 脂質過酸化による動脈硬化関連疾患の発症・進展機序の解明
薬物送達学	薬品物理化学 教授 近藤伸一	1 固体プラズマ化学の基礎と高分子プロドラッグ開発に関する研究 2 乾式メカノケミカル加工によるDDSの設計と開発 3 プラズマ化学の基礎と表面機能化医用高分子の開発に関する研究 4 プラズマ加工による臓器ターゲティングDDSの設計と開発
	製剤学 教授 田原耕平	1 ナノテクノロジーを利用した低侵襲DDS製剤の研究 2 薬物のバイオアベイラビリティ向上を目的とした粒子設計研究 3 統合型医薬品連続生産システムを目指した粒子設計・プロセス開発 4 易服用性製剤の開発と固形製剤に必要な粉体技術に関する研究



大講座	研究室	研 究 内 容
機能分子学	生薬学 教授 大山雅義 准教授 阿部尚仁	1 有用植物の探索と化学系統分類に関する研究 2 植物二次代謝産物の分離と構造解析に関する研究 3 岐阜地域の植物資源の応用と保全に関する研究 4 メタボロミクスを用いた生薬製剤および植物試料の多成分分析
	薬理学 教授 檜井栄一	1 がん幹細胞を標的とした革新的抗がん剤創製に関する研究 2 間葉系幹細胞を標的とした難治性骨系統疾患に対する根本治療薬創製に関する研究 3 骨組織を基軸とした臓器連関による全身恒常性維持機構の解明研究 4 運動器疾患に対する予防効果をもつ機能性素材の開発研究
	薬品分析化学 教授 江坂幸宏	1 キャピラリー電気泳動法の高性能・高機能化と生命科学研究への応用 2 液相分離一質量分析計測法の高感度化と生命・臨床科学研究への応用 3 ジスルフィド基の隣接基効果を利用した低酸化電位を有する機能性分子構築に関する研究
生命薬学	感染制御学 教授 腰塚哲朗	1 病原体の経胎盤感染機序の解析とワクチン開発に関する研究 2 新規抗ウイルス薬の探索と作用機序に関する研究 3 消化管粘膜における感染性および炎症性疾患の治療に関する研究 4 自然免疫活性化シグナル伝達の制御に関する研究
	衛生学 教授 中西 剛 准教授 松丸大輔	1 子供の脳発達に対する化学物質の影響に関する研究 2 <i>in vivo</i> イメージング技術を応用した新規毒性評価手法の開発 3 化学物質の次世代影響に関する研究 4 生体の環境応答と疾患との関わりに関する研究
	生化学 教授 五十里彰	1 上皮癌などにおける細胞間接着分子の病態機能と創薬に関する研究 2 膜輸送タンパク質の発現・機能の制御機構と創薬に関する研究 3 マグネシウム代謝異常の発症機序と治療薬に関する研究 4 皮膚バリア機能および細胞外マトリクス代謝の制御機構に関する研究
医療薬剤学	薬物動態学 教授 北市清幸	1 薬物血中濃度測定系の確立に関する研究 2 TDMを用いた薬物適正使用のための臨床研究 3 精神疾患における薬物治療の最適化に関する研究 4 健康食品素材の機能性、医薬品との相互作用に関する研究
	臨床薬剤学 教授 原 宏和 准教授 神谷哲朗	1 抗酸化酵素の発現調節機構に関する研究 2 酸化ストレスによる神経系細胞の機能障害に関する研究 3 生体微量金属の動態異常と疾患に関する研究 4 細胞外環境の恒常性破綻によるがん細胞転移に関する研究
	薬物治療学 教授 位田雅俊 准教授 栗田尚佳	1 神経変性疾患に共通した発症機序の解明と再生・創薬研究 2 特発性大脳基底核石灰化症 (IBGC)の病態の解明と治療薬の開発 3 胎生期から生涯における環境要因によるエピジェネティクス攪乱の神経機能に及ぼす影響の解明
実践薬学	病院薬学 教授 吉村知哲 准教授 野口義紘 地域医療実践薬学 教授 林 秀樹 医薬品情報学 教授 中村光浩 薬局薬学 教授 井口和弘 グローバル・レギュラトリー・サイエンス 教授 塚本 桂 准教授 松丸直樹	1 医薬品の個別適正使用に関する研究 2 実践的・効率的な薬剤師教育に関する研究 3 安全かつ効率的な注射薬調製支援システムの開発に関する研究 4 嚥下困難な患者を対象とした新規剤形の開発に関する研究 5 保険薬局における情報提供のための事実検証に関する研究 6 生体マトリックス中薬物濃度の高感度分析法に関する研究 7 医薬品開発、申請承認に関する研究 8 医薬品・医療の価値評価に関する研究
サテライト研究室	健康医療薬学 特任教授 笠原千嗣 特任准教授 安田昌宏	1 医薬品による副作用発現の危険因子に関する研究 2 医薬品使用が生活の質 (QOL) に及ぼす影響に関する研究 3 医薬品適正使用のための医療費・医療制度に関する研究 4 医薬品適正使用や健康増進への行動変容につながる支援・教育の確立に関する研究
	先端医療薬学 特任教授 鈴木昭夫 准教授 小林 亮	1 薬物治療の有効性と安全性、患者QOLの向上への取り組みに関する研究 2 エビデンスー診療ギャップの解消とその有用性評価に関する研究 3 がん治療に伴う有害事象の発現機序解明と新規対策に関する研究 4 抗菌薬適正使用支援プログラムの推進とその有用性評価に関する研究

大講座	研究室	研 究 内 容
サテライト研究室	医療連携薬学 特任教授 宇佐美英績 教授 吉村知哲(兼務) 教授 北市清幸(兼務)	病院薬学研究室および薬物動態学研究室との連携研究室 (研究内容は、両研究室の内容に準じる)
寄附講座	化粧品健康学 教授 大山雅義(兼務) 教授 嶋澤雅光(兼務) 特任教授 井上紳太郎 特任准教授 水谷有紀子	1 皮膚の健康や肌の美しさに影響する内因性メディエーターの探索 2 <i>In vitro</i> の皮膚細胞培養系を用いた慢性炎症と皮膚老化の関係の解析 3 色素異常症における色素細胞特異的な細胞障害メカニズムの解明
	バイオメディカルリサーチ 教授 嶋澤雅光(兼務) 特任教授 角崎英志 特任准教授 大津 航	1 新薬開発のための科学的・倫理的に適正な新しい実験動物モデルの確立に関する研究 2 実験動物を用いた病態解明に関する研究
	先進製薬プロセス工学 教授 北市清幸(兼務) 教授 中村光浩(兼務) 教授 田原耕平(兼務) 特任教授 竹内洋文	1 製薬プロセスの合理化、製品品質確保に寄与する研究 2 固形製剤連続生産のための工学的研究 3 連続プロセス構築のための医薬品および添加剤の粒子設計と評価 4 口腔内崩壊錠、フィルム製剤等の新規固形製剤の生産プロセスに関する研究
	ナノファイバー創剤学 教授 田原耕平(兼務) 特任准教授 原 幸嗣	1 医薬品製剤に適したナノファイバー基剤の探索と開発 2 難水溶性薬物の溶解性改善を目指したナノファイバー製剤の開発 3 新規モダリティに対する製剤化技術としてのナノファイバー応用 4 ナノファイバーを活用する経粘膜・経皮など低侵襲DDS製剤の開発
	先端医療薬局学 教授 吉村知哲(兼務) 教授 井口和弘(兼務) 特任教授 佐口 弥	1 薬局を基盤とした専門性の高い薬物治療実践に関する研究 2 薬局のDX化の実現とその評価に関する研究 3 薬局薬剤師に対する研修プログラムの提供とその評価に関する研究
	社会薬局薬学 教授 吉村知哲(兼務) 教授 井口和弘(兼務) 特任教授 松野英子	1 大学と薬局との連携による臨床薬学的研究 2 リアルワールドデータを活用した医薬品の適正使用・副作用に関する研究 3 大学と薬局との連携による地域医療に関する研究
	機能性食品開発学 教授 北市清幸(兼務) 特任教授 横井 毅	1 新規機能性食品成分の同定と新規機能性食品の開発に関する研究 2 機能性食品成分の分析手法の開発に関する研究 3 機能性食品成分の安全性担保に関する研究 4 機能性食品におけるリスクコミュニケーションに関する研究
共同研究講座	創薬イノベーション 教授 嶋澤雅光(兼務) 特任教授 嶋田 薫 特任教授 原 英彰(兼務)	1 創薬シーズ(新標的、新物質)の探索・評価とそのリード創出・最適化に関する研究 2 開発戦略・知的財産戦略に関する事項
	次世代エネルギー化学 教授 佐治木弘尚(兼務) 特任教授 安井 努 准教授 井川貴詞(兼務)	1 地球温暖化対策やSDGs達成に向けた、水素・アンモニア燃料の効率的合成法と装置の開発に関する研究 2 機械的化学反应を利用した新しい有機反応の開発に関する研究 3 機械的化学反应の機構解明に関する研究

## 連携大学院

連携機関	研 究 内 容
岐阜県保健環境研究所 客員教授 村瀬真子	1 医薬品・農薬・食品添加物等の成分分析に関する研究 2 感染症・食中毒の原因となる病原体の分子疫学的研究
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 客員教授 佐藤一彦 客員教授 堀田幹則	1 フロー精密合成法を用いた新規有機反応開発 2 有機合成における単位操作の連続精製プロセス開発 3 機能性分子によるらせん配列制御技術およびキラリティ増幅機構の開発 4 造粒プロセスを利用した無機-有機複合化による機能性粉体の開発 5 粉末積層造形プロセス技術の開発

# 入学検定料振込用紙

1. 太枠内に必要事項をペン、又はボールペンで記入してください。
2. 「電信扱」を取扱う最寄りの金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、農協）の窓口を持参し、振り込んでください。（ゆうちょ銀行は利用できません。）
3. 振込手数料は志願者本人の負担となります。
4. **振込後、金融機関領収印が押印されていることを確認し、「振込証明書」を提出してください。振込金（兼手数料）受領書は大切に保管してください。**
5. 金融機関は土日・祝日は休業です。出願期間に間に合うよう振込みを行ってください。
6. この用紙以外のものを使用したり、ATM（現金自動預払い機）での振込みは絶対に行わないでください。（志願者が確認できない場合があります。）

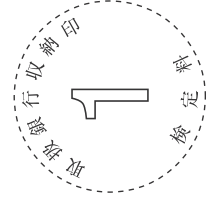
## 電信扱

### 岐阜薬科大学検定料振込依頼書 (①金融機関用)

依頼日	令和 年 月 日	科目			
振込先銀行	十六銀行岐阜市役所支店				
受取人	普通預金	口座番号	1074279	金額	¥30,000 円
	口座名	キョフヤッカダ イカク キョフカイトイカンリシヤ 柳カ ナナチ 岐阜薬科大学 岐阜市会計管理者 大塚 直哉			
	試験種別コード	06	内	現	金
	フリガナ		記		
依頼人	氏名				
	住所				
	TEL				

◎取扱銀行へお願い

1. 試験種別コードとフリガナを必ず打電してください。
2. 取扱期限（下記の期限後の取扱不可）  
令和7年1月14日（火）
3. 取扱銀行印は1～3にもれなく正確に押印し、振込金（兼手数料）受領書及び振込証明書を振込人にお返しください。
4. 金額が訂正されているときは絶対に受け付けしないでください。
5. ATM（現金自動預払い機）での取扱いはできません。



### 岐阜薬科大学検定料 (②本人保管用)

#### 振込金（兼手数料）受領書

振込先銀行	十六銀行岐阜市役所支店				
普通預金	口座番号	1074279			
口座名	キョフヤッカダ イカク キョフカイトイカンリシヤ 柳カ ナナチ 岐阜薬科大学 岐阜市会計管理者 大塚 直哉				
金額	¥30,000 円				
フリガナ					
氏名					
上記のとおり領収しました	手数料				



### 振込証明書

(③提出用)

博士後期入学	金額	¥30,000
	氏名	
	住所	

